

漁業実習（沖合イカ釣り第一クール＆瀬釣り実習）一次終了

沿岸航海実習は小樽出港で終了、加賀港（島根県松江市）経由で西郷港（隠岐の島町）に6月4日に入港しました。西郷港でイカ釣り漁具を取り付け日本海中部海域（大和堆）に向かい10日間のイカ釣り漁業実習を行ないました。その後隠岐の島の島前湾にて釣り実習をしました。



加賀港では藤原教育長の訪船があり、船内見学後実習生へ激励の言葉をいただきました。



西郷港に向かう航海中に木甲板のヤシ摺りをしました。（自身の気持ちを引き締めると共にイカ釣り実習中において事故怪我の無いように思いを込めました）

◎イカ釣り準備



イカ釣り準備作業
（集魚灯ケーブル配線）



イカ釣り用集魚灯点灯試験
（130個の集魚灯点灯）



イカ手釣り用ローラの組み立て



西郷出港当日のラジオ体操
（接岸中は岸壁で実施）

◎イカ釣り実習



出港後担当士官より操業中の
注意を受ける。



非常ベルが鳴り指定場所へ集合
(火災を想定しての避難・消火訓練)



操業開始前
(あと数分で日没)



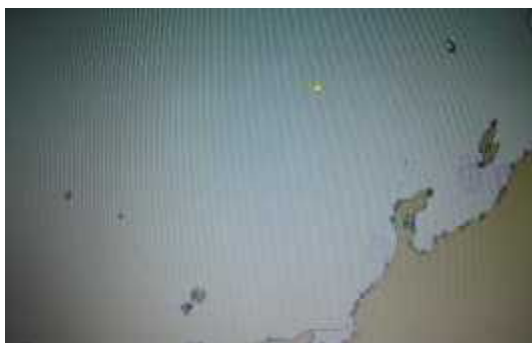
操業地点のデーター採取 (計測器投入)
(水深 500 m までの水温・塩分濃度測定)



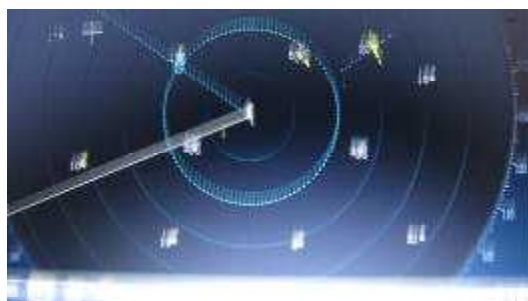
計測器降下用のウィンチ操作
(水深を読む者と機器操作する者の2人1組)



観測が終わり 操業開始前の点呼
(当直士官より注意事項伝達)



操業地点は石川県沖
(黄色点が本船位置)



神海丸の周囲に漁船集まる
(10 隻のイカ釣り漁船をレーダーで確認)



イカ釣り中



手釣りで1パイずつ丁寧に釣ります。
(漁具は30mのテグスの先端に2本のツノ付き)



イカ以外の魚も釣れました。
(真フグ)



釣ったイカの箱立て前準備
(サイズ毎に一本ずつパンに詰める)



製品作り
(パンから出したイカの箱詰め作業)



脱パン作業
(※パンとはステンレス製の
四角い容器です)

◎瀬釣り実習（島前湾／知夫里島沖）



6月25日（木）浜田港において専攻科2年生21名の下船式を行いました。
2年生は長期乗船お疲れ様でした。学校に帰り座学の方も頑張ってくださいと思います。
1年生の下船は7月13日（火）です。残りの乗船実習も事故ケガのないようにがんばります。